

どうする老人医療

これからの老人病院 (Part 28)

～老人病院にリハビリテーションの風を～

在宅療養者の良きパートナーであれ!

在宅リハビリテーションセンター成城

センター長 土田 昌一

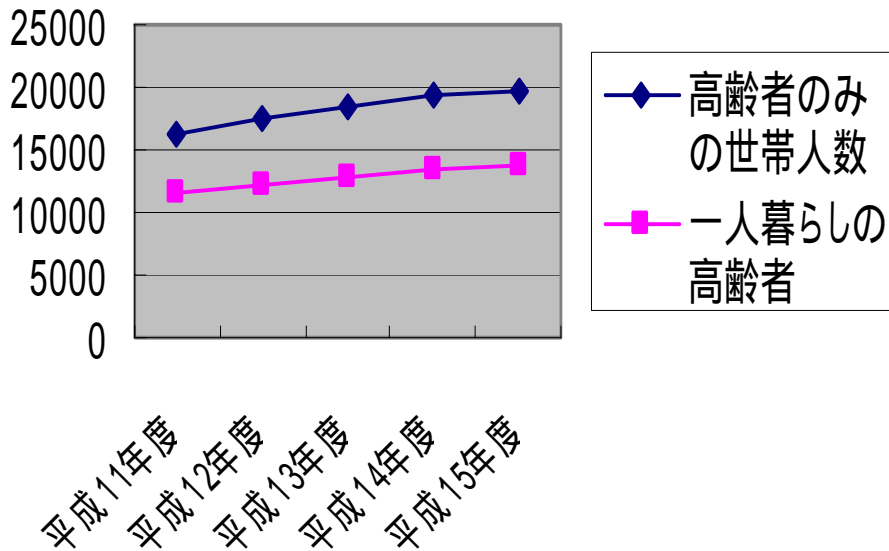
どうする老人医療 Part28

世田谷区

- 人口 81万人 高齢化率 17.0%
- 介護認定者数:第一・第二被保険者 増加率 16.6%
25,914人(H17.10現在):平成15年10月22,215人
要支援 13% 15% 31%
15% 13% 13%
- 介護保険の利用状況:平成17年9月(平成15年9月)
訪問リハビリテーション 209件(180) +16%
通所リハビリテーション 971件(823) +18%
施設入所:
老人保健施設 950件(841) +13%
老人福祉施設 1767件(1717) +3%
介護療養型医療施設 686件(703) -2.5%

どうする老人医療 Part28

世田谷区の高齢者世帯



地域リハビリテーションの定義

障害をもつ人々や老人が住み慣れた所で、そこに住む人々と共に、一生安全に生き生きとした生活が送れるように、医療や保健・福祉及び生活に関わるあらゆる人々がリハビリテーションの立場から行う活動のすべてを言う。

その活動は、障害を持つ人々のニーズに対し先見的で、しかも身近で素早く、包括的継続的そして体系的に対応するものでなければならない。また、活動が実効あるものになるためには、個々の活動母体を組織化する作業がなければならない。

地域リハ支援活動マニュアルより

どうする老人医療 Part28

当センターの構造

病棟 医療保険	療養病床 16床 平均在院日数 14日 看護師 7名 介護福祉士 5名 理学療法士 1名 作業療法士 1名 言語聴覚士 0.5名 管理栄養士 0.5名
外来 医療保険	医師 3名(1名非常勤) 理学療法士 7名 作業療法士 5名 言語聴覚士 3名 看護師 2名
在宅サービス 介護保険	クリニック:訪問看護・訪問リハ 介護事業所 キラメイト: 訪問介護・居宅介護支援・通所介護

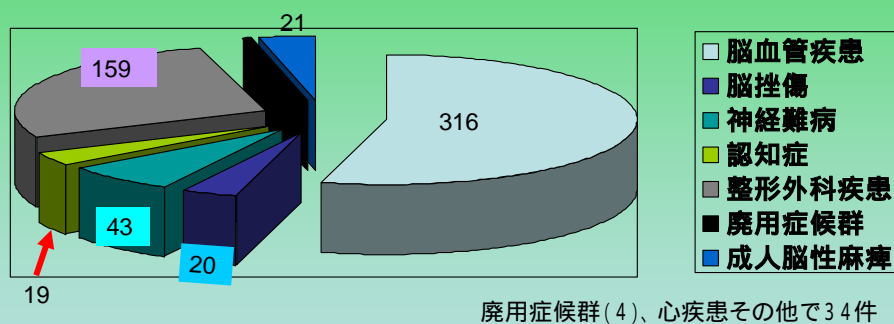
どうする老人医療 Part28

当センターの機能

- 医療保険・介護保険をワンパッケージで提供。
- 外来診療は包括的診断の下、各療法士と合議して対応している。訪問診療・訪問看護・訪問リハビリテーション・訪問介護・訪問服薬指導・訪問管理栄養指導など手配している。
- 療養病床(16床)は、プライマリーケアのために機能している。
- 入院目的:短期家族支援、訓練評価、回復期リハ的アプローチ、内科的緊急対応

どうする老人医療 Part28

当クリニック初診時疾患



2004年5月から2005年12月 627件

どうする老人医療 Part28

外来機能訓練の分類

単純型

骨・関節疾患単独例、脳出血・脳梗塞の単独例

週1・2回の機能訓練 3ヶ月で頻度減可能

基本的には、介護保険利用へ。

在宅廃用症候群

*入院するほどのこともない軽微な疾患・外傷などで
徐々に生活動作の低下を招いてきたもの*

週1・2回機能訓練と在宅サービスの確認と導入
を併用する。月一回位の確認外来を半年提供。

複雑型

難病・成人脳性麻痺・頸髄損傷・脳挫傷後遺症など

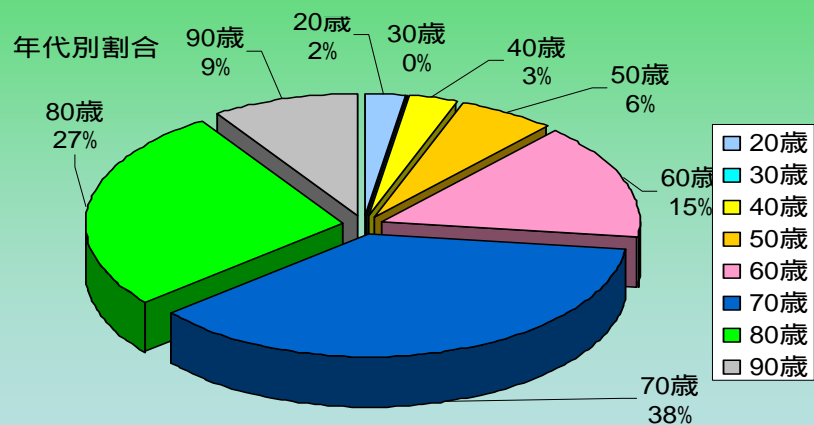
定期的評価を前提に3ヶ月刻みの計画を行う。
基本的には長期の関わりを必要と判断する。

入院適応

- 短期入院による機能評価と家族支援
- 必要に応じての評価入院
- 緊急避難入院: 介護者の急病、葬祭関係等
- 急性期病院からの在宅療養への準備のための転院
- 内科的・手術を要しない急性発症の外科的疾患の対応

どうする老人医療 Part28

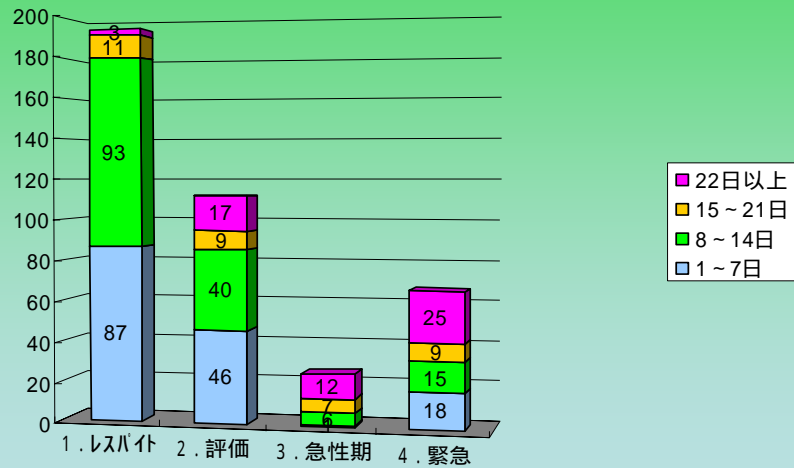
年代別 入院割合



どうする老人医療 Part28

入院目的別 入院日数

入院目的別入院日数



どうする老人医療 Part28

当病棟 (医療療養病床) の実績

	2004	2005			
	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12
平均在院日数	10.8	19.2	10.8	13.3	11.8
新規入院患者	56	66	91	89	69
家族在宅支援主題 (%)	46	56	65	58	58
在宅機能評価・訓練 (%)	37	12	14	12	6
急性期病院から転院 (%)	8	17	14	12	17
緊急入院 (%)	9	15	7	13	19

2004年10月から12月は8床稼動

2005年12月13日 病棟閉鎖

現状の課題

- 在宅療養の継続援助についての課題
先見性と即時性ある包括的対応が必要
- 医療連携の重要性
急性期病院への転送のタイミング
長期化が予測される利用者への施設・病院の手配
- 医師・看護師の人員
適正配置を確保するための収益性

どうする老人医療 Part28

老人病院にお願いしたいこと

- 在宅療養中の高齢者・障害者の諸問題に対して対応できる機能をアピールして欲しい。
- 準緊急的病状変化に対して、即応できる入院体制を確保して欲しい。
- 入院中のリハビリテーションサービスの充実を保障して欲しい。
- 中長期的対応の中で納得できる療養を提供して欲しい。
- 可能な限り在宅援助できるネットワークを持って欲しい。

どうする老人医療 Part28

在宅療養者の良きパートナーであれ！

どうする老人医療 Part28